

評価基準

評点項目	評価内容			配点
全体の評価 (10点)	提案内容の的確性	事業の内容及び目的を十分に理解し、仕様書に記載の各提案項目に対応して、明確かつ具体的に提案されているか。		5点
	提案内容の実現性	上記提案が効果的・効率的に実施できることが明確に示されているか。		5点
提案項目① (企画力) (20点)	分析評価能力	将来のキャンパスのあり方、外部環境の変化、技術動向に関する知見を有し、現状の課題・先行事例の分析・評価に基づく提案がなされているか。		5点
	事業具体化能力	狭隘なキャンパスで事業全体を着実に進める具体的でかつ実現可能な提案となっているか。		5点
	整備方針理解能力	整備構想の基本的整備方針を理解し、配置レイアウト案は改善点を含めて本学が備えるべき具体的な提案となっているか。		5点
	独創性	部分的な木構造採用、木材利用推進など他事業者と差別化を図った独自の技術の活用を含む提案となっているか。		5点
提案項目② (運用) (10点) (基礎)	基礎的企画力	適切なマスタープラン(土地のゾーニング、建物配置、各種動線計画)の提案となっているか。		5点
		教育活動、研究活動を推進する提案となっているか。		5点
提案項目③ (専門性) (15点)	建築企画能力	新生府大のシンボルを創出する提案、屋内外を含み学生の多様なアクティビティを有む提案・教職員に快適な提案となっているか。		5点
		建築、都市計画、景観等の関係法令を熟知し、SDGsや地球温暖化等に対応した配慮など、機能、デザイン面で優れた提案となっているか。		5点
		安心・安全でセキュリティや緊急時対応に配慮した創意工夫が見られる提案がされているか。		5点
業務実施 体制 (20点)	人員配置	提案内容を着実に実施できる専門人材等、人員配置が確保されているか。		10点
	工程対応	本学全体の取組みとなるよう、意見聴取やWGの支援体制が確保されているか。 また、施設整備委員会、学内WG、中間とりまとめ、最終報告等の業務工程が適時、的確な提案となっているか。		10点
小計				75点
業務実績等	本業務と同種・類似業務の実績があるかどうか。		10点	
	事務所の人員体制は整っているか、また、業務実施体制で確保されている人員の業務実績の内容が明確に示されているか。		5点	
府内企業	京都府内に、本店、支店又は営業所等を有する者であること。		府内に本店がある	5点
			府内に支店、営業所等がある	3点
			上記以外	1点
価格点	業務の品質を確保しうる見積もりとなっているか			5点
小計				25点
合計				100点

配点基準(10点配点は10段階評価、5点配点は5段階評価)

○業務実績等

本業務と同種・類似業務の実績があるかどうか(10点)

業務内容	点数	設計した建物の延べ床面積	点数
マスタープラン及び設計	1.0	20,000㎡以上	1.0
マスタープランのみ	0.6	15,000㎡以上20,000㎡未満	0.8
設計のみ	0.6	9,000㎡以上15,000㎡未満	0.6
		9,000㎡未満もしくは設計なし	0.2

実績1件あたり最大2点×最大5件まで算定

事務所の人員体制は整っているか、また、業務実施体制で確保されている人員の業務実績の内容が明確に示されているか(5点)

技術者実績点(3点)

業務内容	点数
マスタープラン及び設計	1.0
マスタープランのみ	0.6
設計のみ	0.6

実績1件あたり最大1点×最大3件まで算定

所属技術者数(2点)

会社に所属する技術者の数を右の表で換算する。

順位	点数	資格	係数
上位3者	2	一級建築士、建築積算技術者	1.0
4～6者まで	1	二級建築士、木造建築士	0.5
7者以下	0		

○価格点 業務の品質を確保しうる見積もりとなっているか(5点)

上限額×100%超～×110%の場合	$4 \times (\text{上限額} \times 110\% - \text{見積額}) / \text{上限額} \times 10\%$
上限額×80%～×100%の場合	$5 \times \text{上限額} \times 80\% / \text{見積額}$
上限額×80%未満の場合	$4 \times (1 - (\text{上限額} \times 80\% - \text{見積額}) / \text{上限額} \times 10\%$